

ベナン月報(2014年12月)

主な出来事

【内政】

●4日, Transparency Internationalの2014年度の腐敗認識指数が発表され, ベナンは2013年の177カ国中94位から大きく順位を上げ, 175カ国中80位にランクインした。かかる順位はECOWASの中では, セネガル, カーボヴェルデに次ぎ3番目の高順位であった。

●10日及び11日, 野党勢力は, 早期の地方選挙の実施を求めて, それぞれポルト・ノヴォ, コトヌにおいて野党支持者らによるデモ行進を行った。コトヌでは, 数万人が動員された由。

●11日, 与党勢力もコトヌにおいて大規模なデモ行進を行った。

●16日, 総額約1兆5066億FCFAに上る2015年度予算案が国民議会で採択された。

【外政】

●4日, 在ベナン日本大使館公邸において天皇誕生日レセプションが実施され, バコ・アリファリ外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣, ドゥ・スザ開発・経済分析・未来計画大臣, 及びゾマホン駐日ベナン大使等多数の要人が出席した。

【経済】

●11月29日, 総額2,440億FCFAに上る第11次欧州開発基金(2014-2020)の実施が決定し, ヤイ大統領出席の下, Neven MIMICA国際協力担当欧州委員及びクチェ経済・財務・民営化大臣が署名式を実施した。同開発基金は, ガバナンス, 農業, 及びエネルギーの3分野を重点分野として実施される。

●2日, 日本による2014年度食糧援助が実施されることが決定し, 塚原駐ベナン日本国大使及びバコ・アリファリ外相が署名式を実施した。供与額は, 17億FCFAに上る。

●10日, 米ワシントンにおいてミレニアム・チャレンジ・コーポレーション(MCC)の理事会が開催され, ベナンのミレニアム・チャレンジ・アカウント(MCA)第2コンパクトの実施が決定された。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 1日, ナティティンクにおいて, 窃盗を繰り返していたとして男4名が逮捕された。そのうち一名は教師であった由(2日, La Nation紙)。
- ・ 2日, パラク選出のセ(M.Guéné Orou Sé)国民議会議員が, 司法官を脅した罪で6ヶ月の禁固刑及び50万FCFAの罰金を命じられた(3日, La Nation紙)。
- ・ 2日, ニッキにおいて通貨偽造の容疑で女性6名が逮捕された(3日, Le Matinal紙)。
- ・ 3日, 経済・財務・民営化省は, 次回地方選挙の予算として約130億FCFAの支出が必要であるとの試算を発表した(4日, La Nation紙)。
- ・ 3日, ジュグにおいて2台のバスが衝突し, 22名の死者及び約80名の負傷者が出た(4日, Le Matinal紙)。

- ・ 4日, Transparency Internationalの2014年度の腐敗認識指数が発表され, ベナンは2013年の177か国中94位から大きく順位を上げ, 175か国中80位にランクインした。かかる順位はECOWASの中では, セネガル, カーボヴェルデに次ぎ3番目の高順位であった。ベナンにおける各種公的部門での改革が評価された結果である由(5日, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 5日, ヤイ大統領は, 次期地方選挙に関する政治対話を実施した。主要野党勢力の多くは, 準備の無いまま開催しても無意味であるとしてかかる会合を欠席した。この政治対話において, ソノン(M.Gustave Dépo SONON)政府機関関係担当大臣は, 恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の発表時期は1月中旬になる予定である旨, また, 国民議会議員選挙を2015年4月に実施する予定である旨発表した(8日, La Nation紙)。
- ・ 5日, ベナン北部ポルガにおいて, 男3名が強盗を繰り返したとして, 地域住民の民衆制裁によって殺害された(8日, Le Matinal紙)。
- ・ 10日及び11日, 野党勢力は, 早期の地方選挙の実施を求めて, それぞれポルト・ノヴォ, コトヌにおいて野党支持者らによるデモ行進を行った。コトヌでは, 数万人が動員された由(10日, Le Matinal紙, 11日, La Nation紙, 12日, Le Matinal紙, La Nouvelle Tribune紙, L' Autre Quotidien紙, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 11日, 与党勢力もコトヌにおいて大規模なデモ行進を行った(11日, La Nation紙, 12日, Le Matinal紙, La Nouvelle Tribune紙, L' Autre Quotidien紙, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 16日, 総額約1兆5066億FCFAに上る2015年度予算案が国民議会で採択された(17日, La Nouvelle Tribune紙, L' Autre Quotidien紙)。
- ・ 19日, インドがウィダにおいて建設した農業トラクター組立て工場が完成し, ヤイ大統領が竣工式に出席した。同工場では日産10台の生産量, 180~200人の直接雇用が見込まれている(22日, La Nation紙)。
- ・ 23日, ダッサにおいてバスが横転し約10名の死傷者が出た(24日, Le Matinal紙)。
- ・ 27日, セメ・クラケの中古車販売場において火災が発生し, 約20店舗が焼失した(29日, Le Matinal紙)。
- ・ 28日, LEPI指導監督評議会(COS/LEPI: Conseil d' Orientation et de Supervision de LEPI)は, 1月15日に暫定LEPIを国家独立選挙委員会(GENA)に提出する予定である旨発表した(29日, La Nation紙)。
- ・ 30日, ヤイ大統領は国民議会において年末の国民に向けた演説を行った(31日, La Nation紙)。
- ・ 同日, 長期にわたり工事が中断していた新国民議会議事堂建設の工事が再開したとして, ヤイ大統領が工事現場を視察した(31日, La Nation紙)。
- ・ 同日, 北部ンダリにおいて, 複数の男が車輛強盗を行い, 3名の地域住民が殺害された他, 複数の負傷者が出た(31日, La Nation紙)。
- ・ 25日から新年1日にかけて, 北部ナティティング周辺において約20件の交通事故が発生した(1月5日, Le Matinal紙)。

【外政】

- ・ 11月29日から30日、ダカールにおいて国際フランコフォニー機構会合が開催され、ヤイ大統領が出席した。加えて、同大統領は、同会合の-marginで、オランド仏大統領と会談した(1日, La Nation紙)。
- ・ 4日、在ベナン日本大使館公邸において天皇誕生日レセプションが実施され、バコ・アリファリ(M.Nassirou BAKO-ARIFARI)外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣、ドウ・スザ(M. Marcel Alain de SOUZA) 開発・経済分析・未来計画大臣、及びゾマホン(M. Rufin ZOMAHOUN)駐日ベナン大使等多数の要人が出席した(5日, La Nation紙)。

【経済】

- ・ 11月29日、総額2,440億FCFAに上る第11次欧州開発基金(2014-2020)の実施が決定し、ヤイ大統領出席の下、Neven MIMICA国際協力担当欧州委員及びクチェ(M.Komi KOUTCHE)経済・財務・民営化大臣が署名式を実施した。同開発基金は、ガバナンス、農業、及びエネルギーの3分野を重点分野として実施される(1日, La Nation紙)。
- ・ 1日、在ベナン仏大使館がメディア関係者を対象に「選挙期間における情報の取扱い及び職業倫理にかかる研修」を実施した(2日, La Nation紙)。
- ・ 2日、日本による2014年度食糧援助が実施されることが決定し、塚原駐ベナン日本国大使及びバコ・アリファリ外相が署名式を実施した。供与額は、17億FCFAに上る(10日, La Nation紙)。
- ・ 3日、4日に開催される日本の天皇誕生日レセプションに先立ち、在ベナン日本国大使館がプレス・カンファレンスを実施し、2014年の経済協力、広報文化活動等の総括を行った(4日, Le Matinal紙, 16日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 5日、日・ユネスコ人的資源開発信託基金で実施された「コトヌ市観光業発展のための中途退学者及び未雇用卒業生の研修」の修了式が塚原駐ベナン日本国大使の出席の下、コトヌ市役所で実施された(8日, La Nouvelle Tribune紙, 15日, L'Événement Précis紙)。
- ・ 8日、ナティティングのビジネス促進センターの開所式が実施され、スラノン・ソス(Mme Marie-Laurence SRANON SOSSOU)零細融資・雇用・青年女性起業啓発担当大臣及びカサ(M.Barthélémy Dahoga KASSA)エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣等が出席した(9日, La Nation紙)。
- ・ 同日、アタコラ県ケルにおいて2014-2015年の綿花キャンペーンが開始した。ヤイ大統領及びアズイズ(M.El Hadji Issa AZIZOU)農業・畜産・漁業大臣が綿花の収穫及び買取りに立ち会った。アズイズ農業大臣によれば、本年度は40万トンの収穫が期待される由。また、本年度の綿花買い取り価格が1キロあたり250FCFAで決定した件に関し、ヤイ大統領は、マリやブルキナファソにおいても綿花買い取り価格は、それぞれ、245から225FCFA, 230から225FCFAに減額されており、ベナンにおける買い取り価格が適正である旨強調した(10日, La

Nation紙)。

- 10日、米ワシントンにおいてミレニアム・チャレンジ・コーポレーション(MCC)の理事会が開催され、ベナンのミレニアム・チャレンジ・アカウント(MCA)第2コンパクトの実施が決定された(11日、L' Autre Quotidien紙、12日、L' Evénement Précis紙)。
- 17日、西アフリカ開発銀行(BOAD)がベナンに対し、150億FCFAの借款を行うことになり、アドヴェランデ(M.Christian ADOVERANDE)BOAD総裁とクチェ経済・財務・民営化大臣が署名式を実施した。同借款では、ベナン10市において道路舗装や衛生分野でのプロジェクトが実施される予定(18日、L' Autre Quotidien紙)。
- 18日、MCCの副代表Jonathan BLOOM氏がベナンを訪問し、第2コンパクトの実施にかかる協議がなされた(22日、Le Matinal紙)。
- 19日、仏ボロレ・グループがコトヌ自治港にガントリークレーンを2基を新設し、ヤイ大統領が視察を行った(22日、La Nation紙)。
- 19日及び20日、FAOがマランヴィル及びカリママの洪水被害者に対し、生産復興支援を目的とする3億FCFAに上る支援を実施し、引渡式が実施された(23日、La Nation紙)。
- 27日、イスラム開発銀行及び西アフリカ開発銀行の出資及び融資で、マリア・グクタ火力発電所に120メガワット規模の新たな火力発電プラントを建設することになり、ヤイ大統領が定礎式に出席した(29日、La Nation紙)。

(了)